

1 単元 明治の国づくりを進めた人々

2 教科の目標

明治維新の中心人物が誰かについて、相手の意見を理解し、自分の意見を伝えることができる。

3 活用したICT

コンピュータ 教材提示装置 プロジェクタ

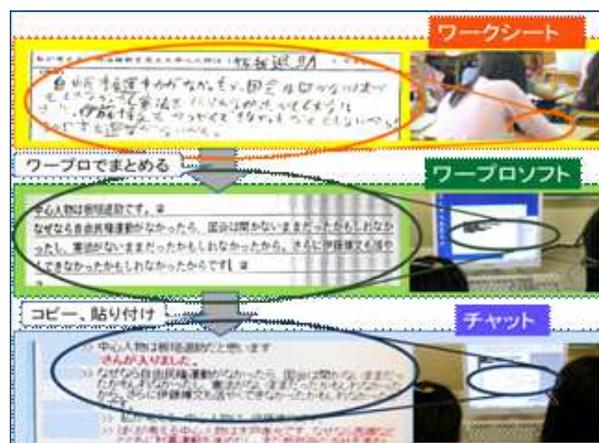
4 活用したICTの工夫

- ・ 意見を伝え合う場面で、コンピュータのチャット機能を用いる。あらかじめ自分の意見を打ち出しておくことで、話し合いをスムーズできるようにする。また、話し合った内容を、画面上に残った会話から見直させ、グループの意見をまとめさせる。(コンピュータ)
- ・ グループの意見を全体に分かりやすく伝えることができる。(コンピュータ)

5 実践の様子

(教材提示装置 プロジェクタ)

- ① 明治維新の中心人物が誰か、人物名と理由をワークシートにまとめた。
- ② ワークシートに書いた自分の考えを、あらかじめワープロソフトでまとめた。
- ③ チャットを行う際、まとめた内容を必要に応じてコピーし、チャットの書き込み画面に貼り付けることで、自分の意見を伝えた。(資料1)
- ④ お互いの意見について気付いたことや、賛成、反対意見をチャットで伝え合った。
- ⑤ 印刷したチャットから、友達の見解のよいところを見付けながら話し合った。それを参考に人物の思いや考えを付箋紙に書き、ワークシートに貼り、明治維新に関わった人物の関係図を作った。付箋紙に書かれた内容のよいところに注目し、互いの意見を理解して自分の考えを伝え合えるようにして人物の関係図を完成させた。話し合いを通して、明治維新の中心人物を決めた。グループの意見として決まった明治維新の中心人物を、出来上がった人物の関係図を教材提示装置とプロジェクタで見せながら学級全体で発表した。(資料2)



資料1 自分の意見を伝える流れ



資料2 教材提示装置を用いて、中心人物を発表する様子

6 成果と課題

- チャットの内容を見返すことで、相手の意見のよいところを認めたり、伝え合ったりすることができた。
- あらかじめワープロソフトに自分の意見をまとめさせ、書き込みの際にコピーしたものを貼りつけさせることで、チャットですべての子どもたちが、自分の意見をスムーズにきちんと伝えることができた。
- 教材提示装置で発表することにより、グループの意見をみんなに分かりやすく伝えることができた。
- 活動に少し時間が掛かりすぎてた。ICTを活用することで、更に効率よく話し合いを行う工夫をしていく必要があった。